

せとうち広島デスティネーションキャンペーンの実施結果について

令和3年2月12日
商工労働局

1 実施期間

令和2年10月1日（木）～令和2年12月31日（木）

2 実施主体

せとうち広島デスティネーションキャンペーン推進協議会

（広島県・一般社団法人広島県観光連盟・JR西日本・広島県内外市町・
広島県内観光交通事業者等）

3 展開エリア

広島県全域，山口県岩国市，愛媛県今治市・上島町・松山市，岡山県倉敷市

4 実施結果等

- 新型コロナウイルス感染症拡大の状況を踏まえ，東京や大阪で開催を予定していた観光PRイベント等を中止し，受入観光施設等における感染防止対策を図りながら，県内や近隣県を中心とした誘客を実施した。
- デスティネーションキャンペーン（DC）のメイン素材であった，観光型高速クルーザー「SEA SPICA」の乗船率は80%，観光列車「etSETOra」の乗車率は96%となるなど，鉄道と船舶を組み合わせた新たな観光周遊ルートの実現につながった。
- 新型コロナウイルス感染症の再拡大により，12月の誘客実績は低減したものの，GoToトラベルや県の誘客促進事業等との相乗効果もあり，期間中の旅行商品の販売実績は対前年比115%となった。
また，JR西日本が近隣エリア内の周遊促進に向けて販売した「ひろしま1デイきっぷ」等の売上も好調であり，個人旅行・マイクロツーリズムの傾向が見られた。
- 今後は，令和3年10月～12月に実施を予定しているアフターDCに向け，市町やJR西日本等と連携し，今回のDCにおける成果や課題を踏まえた多種多様な観光プロダクトの開発や効果的な情報発信等を進めていく。